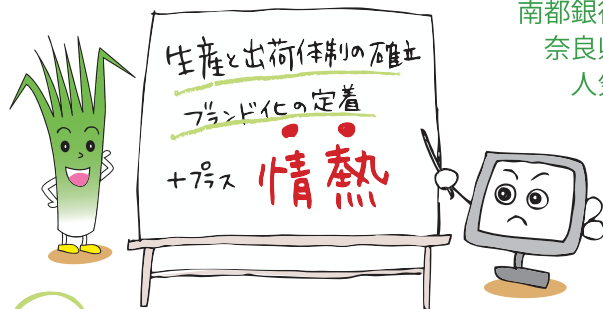


第1話 人気プロガー 鉄田 憲男 氏『結崎ネブカ』を応援！



おいしいところだけを取り出したようなネギ！

『結崎ネブカ』との出会いは、05年2月当時「奈良のうまいもの」づくり部会委員を務めていたことがあり、取り寄せていただいたのがきっかけです。

刺激臭が少なく香りや歯ごたえがいいので、どんな料理にも合い、まさに「ネギのおいしいところだけを取り出したようなネギ」ですね。また能面と一緒に天から降ってきたというストーリーもいいと思いますよ。

『結崎ネブカ』をブログで紹介！その反響は…

西宮市に住む私のブログ愛読者がわざわざ結崎に來られ、「美ノ吉」さん（※本誌創刊号にて掲載）の『結崎ネブかうどん』を食べ、「これは美味しい」とお褒めのかい「スーパーおくやま」で『結崎ネブカ』を何束か買って帰られたそうです。その他何人もの方がブログを見て静岡などから「美ノ吉」さんに來られたそうです。

南都銀行勤務の傍ら、奈良まほろばソムリエの資格を持ち、奈良県のグルメや観光情報などを発信されている人気プロガーの鉄田氏。『結崎ネブカ』の現状と今後について語っていただきました。

生産と出荷体制の確立、
ブランド化定着への仕掛け。

じわじわと認知され、著名レストランや青果商からの引き合いもある『結崎ネブカ』ですが、生産と出荷の体制がまだ整っていないように思います。「ほしいと思ったときにない」、これでは広がるものも広がりにません。生産者は、もっと情熱やこだわりを表現すべきです。

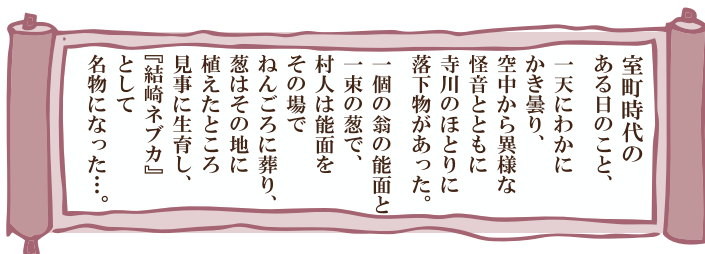
いよいよ来年は記念すべき『結崎ネブカ復活10周年』の年、これを利用しない手はありません。地域が立ちあがって『結崎ネブカ』普及に取り組みしましょう。イベントなどを通じて住民の気持ちをひとつにし、全国へ発信していくことが大切です。ネッシーを利用した演出、マスメディアやWebの活用、他地域とのタイアップなどおもしろい仕掛けを考え、この素晴らしい『結崎ネブカ』を全国にPRしましょう！そのためには、これらを企画提案、実践し『結崎ネブカ』のブランド化を索引する“プランナー”や“コーディネーター”が必要です。『結崎ネブカ』を愛し情熱を持った人材が、地域と産物を変えるのです。

■ブログ「日々ほほ好日」より
「結崎ネブかうどん」

http://blog.goo.ne.jp/tetsuda_n/



第2話 川西町は能楽発祥の地



◆上記の伝説は、現在の川西町、寺川のほとりに立つ面塚を説明したものです。観世発祥の地という歴史と、能面を貴重とする風潮に加え『結崎ネブカ』がかつて大和野菜の雄（中心的な存在）であったころから、史実と幻想を巧みに織り交ぜて物語化されたものと考えられます。



■「面塚」（左）と
「観世発祥の地」の碑（右）

◆能楽は大和の国に関係が深く、その昔、観阿弥三郎清次が大和国結崎村（川西町結崎）の「結崎座」で活躍したことにあるといわれています。観阿弥は猿楽を一般大衆にもわかりやすい芸能に変化させ、座名も「結崎座」から「観世座」となりました。

◆「観世座」は室町將軍家の庇護のもとに不拔の基礎を築き、特に観阿弥の子、世阿弥が天才的な芸風を持ち三代將軍義満に可愛がられました。「観世座」は観阿弥世阿弥親子二代の出現により能楽完成に偉大な功績を残し、現在の繁栄につながっているといえます。